

「球技」～バレーボール～

本単元で育成する資質・能力

知と学びに向かう思考力・表現力

日時 平成30年 7月10日(火) 2校時(9:45～10:35)

場所 体育館

学年 第1学年(男子 27名)

単元について

バレーボールは二つのチームがコート上でネットを挟んで相対し、身体とボールの操作を行いながら、ボールを打ち合い、空いている場所へ返球しながら、一定の得点に早く到達することを競う運動である。どのようにしたら攻撃につながるかを考えながら、拾う、つなぐ、打つなどの一連の基本動作を発展させていくことで、思考力の高まりが期待できる。また、仲間と連携し作戦を組み立てることで、自分の役割を自覚し、チームとして助け合い勝敗を競い合う楽しさを学ぶことができる。互いをカバーし合いながら、プレーが進められる運動であり、生徒同士の関わり方が勝敗に大きく影響するため、よりよい人間関係を築いたり、協調性を養ったりすることにもつながる。さらに、バレーボールは、全身的な運動であり、敏捷性、調整力などの中学生の時期に高めたい能力を養うことができるとともに、ルールやマナーを守り勝敗や結果を受け入れる公正な態度は社会生活における望ましい態度や行動を身に付けることにもつながる。

生徒について

1学年男子生徒を対象に、体育分野の学習に対するアンケートを単元前にとったところ、次のような結果であった。

	質問内容	あてはまる	あてはまらない	どちらでもない
1	体育の学習は好きだ	92.6%	0%	7.4%
2	バレーボールの学習は好きだ	77.8%	7.4%	14.8%

体育分野の学習に対して、多くの生徒が好きであることが分かる。主な理由には「体を動かすことが楽しい」「運動すると気持ちがいい」「いろいろなスポーツができる」などの意見があった。

しかし、バレーボールの学習では、その割合が低く、その主な理由として、「パスが上手くできない」「ミスしたらチームに迷惑がかかる」「どう動いていいかわからない」などの意見があった。

他の運動と比べ、ネット型のボール運動の経験が浅いことから、一部の生徒がバレーボールに対して苦手意識を持っていると考えられる。学年として、非常に意欲的に授業に取り組む集団である。互いに励まし合ったり、協力して準備や片付けに取り組んだり、前向きな行動が多く見られる。運動技能については、二極化しており、得意な生徒と苦手な生徒がはっきりと分かれている。

指導について

ボールをコントロールする力をつけ、パスをつなぐ楽しさを感じさせるため、単元の前半では、アンダーハンドパスやオーバーハンドパスを中心に基本的な技能を身に付けさせていく。得点につながるプレイにするためには、チーム内でパスをつなげる技術と同時に、3回で攻撃して返球する技術が必要となる。単元の後半では、スパイクの技能についても段階的に指導を行い、達成感を味わわせたい。

個人技能の習得では、ポイントを絞って伝えていくことで、生徒が意識し易くさせる。また、ボールへの接触回数を多くさせるために、パス練習のメニューを固定化し授業の前半にドリル的に実施する。

集団技能の習得では、スパイクを活用してラリーを行わせるために、ルールを工夫して段階的にゲームを行わせる。その中で、ボールを持たない時の動きも踏まえて、ラリー中の基本的な動きについても指導していく。知と学びに向かう思考力・表現力の育成を促すために、個人やチームの課題に気付かせ考えさせるために、互いのプレイを見て指摘し合えるようなグループ活動を取り入れていく。このような活動を通して、個やチームの技能の向上に向けた方法を考える思考力や、他者と協力して積極的に取り組む主体性や協調性を伸ばしていく。

単元の目標と評価規準

<単元の目標>

- (1) バレーボールについて、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームが展開できるようにする。
ネット型では、ボール用具の操作と定位置に戻るなどの動きによって空いた場所をめぐる攻防を展開できるようにする。【技能】
- (2) バレーボールに積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、作戦などの話合いに参加しようとするなどや、健康・安全に気を配ることができるようにする。【態度】
- (3) バレーボールの特性や成り立ち、技術の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解し、か課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。【知識、思考・判断】

<評価規準>

ア 運動への関心・意欲・態度	イ 運動についての思考・判断	ウ 運動の技能	エ 運動についての知識・理解
①バレーボールのルールやマナーを守り、積極的に取り組もうとしている。 ②自分の役割を果たしたり、教え合ったりして互いに協力しながら、フェアなプレイを大切にしようとしている。 ③施設や設備の安全や用具の管理をし、健康・安全に留意して練習に取り組んでいる。	①ボール操作や定位置に戻るときの動きなど、技術を身に付けるための運動の行い方のポイントを見付けている。 ②提供された練習方法から自己やチームの課題に応じた練習方法を選んでいる。	①オーバーハンドパスの正しい基本動作ができる。 ②アンダーハンドパスの正しい基本動作ができる。 ③スパイクの正しい動作ができる。	①バレーボールの特性や成り立ち、技術の名称や行い方、関連して高まる体力を理解している。 ②バレーボールの試合の行い方について理解している。

指導と評価の計画(全12時間)

次	時	学習内容(時数)	評 価					評価方法
			関	思	技	知	評 価 規 準	
一	1	○オリエンテーション	①			①	<ul style="list-style-type: none"> バレーボールのルールやマナーを守り、積極的に取り組もうとしている。 バレーボールの特性や成り立ち、技術の名称や行い方、関連して高まる体力を理解している。 	行動観察 行動観察 学習カード
	2	○基本技術(パス)習得, それらを活用したゲームの行い方	②				<ul style="list-style-type: none"> 自分の役割を果たしたり、教え合ったりして互いに協力しながら、フェアなプレイを大切にしようとしている。 	行動観察
二	3	○パスの課題解決に向けて取り組む		①			<ul style="list-style-type: none"> ボール操作や定位置に戻るときの動きなど、技術を身に付けるための運動の行い方のポイントを見付けている。 	行動観察 ワークシート
	4	○グループでの教え合い練習, 作戦を工夫してのゲーム			①		<ul style="list-style-type: none"> オーバーハンドパスの正しい基本動作ができる。 	行動観察
	5	○グループでの教え合い練習, 作戦を工夫してのゲーム				②	<ul style="list-style-type: none"> アンダーハンドパスの正しい基本動作ができる。 	行動観察
	6	○発展技術(スパイク)習得, それを活用したゲームの行い方	③				<ul style="list-style-type: none"> 施設や設備の安全や用具の管理をし、健康・安全に留意して練習に取り組んでいる。 	行動観察
	7	○スパイクの課題解決に向けて取り組む 【本時】		②			<ul style="list-style-type: none"> 提供された練習方法から自己やチームの課題に応じた練習方法を選んでいる。 	行動観察 ワークシート
三	8	○グループでの教え合い練習, 作戦を工夫してのゲーム				③	<ul style="list-style-type: none"> スパイクの正しい動作ができる。 	行動観察
	9	○3段攻撃を活用した段階的なゲーム				②	<ul style="list-style-type: none"> バレーボールの試合の行い方について理解している。 	行動観察 学習カード
	10	○3段攻撃を活用した段階的なゲーム				②	<ul style="list-style-type: none"> バレーボールの試合の行い方について理解している。 	行動観察 学習カード
	11	○3段攻撃を活用した段階的なゲーム				②	<ul style="list-style-type: none"> バレーボールの試合の行い方について理解している。 	行動観察 学習カード
	12	○リーグ戦					<ul style="list-style-type: none"> バレーボールの試合の行い方について理解している。 	行動観察 学習カード

本時

- (1) 本時の目標
 - ・スパイクの課題を見つけ出し、解決に向けた練習に取り組むことができる。
- (2) 本時の評価規準
 - ・提供された練習方法から自己やチームの課題に応じた練習方法を選んでいる。【イ思考・判断②】
- (3) 本時の深い学びをしている生徒の具体的な姿
 - ・課題についての動作を言語化し、相手に説明しようとしている。
- (4) 準備物
 - ボール、ネット、タイマー、ボード、タブレット、資料集、ワークシート
- (5) 本時の展開

学習活動	指導上の留意事項 (◇) ◆「努力を要する」状況と判断した生徒への指導の手立て ★深い学びをしている生徒の具体的な姿	評価規準	評価方法
本時の課題を把握する。〔15分〕			
1 挨拶 2 ウォーミングアップ ・サーキット (腕立て伏せ, 腹筋, バーピージャンプ, 壁倒立) 3 基本練習 直上パス(個人)から, 対人パス(ペア) (オーバーハンドパス, アンダーハンドパス) ペア壁打ちスパイク 4 本時のめあての確認	◇短く指示を出すことで、リズムテンポよく行わせる。 ◇短く時間を区切り、相手を変えて練習させることで、意欲的に取り組ませる。 ◆「膝」「落下点」と短い言葉でポイントを伝えて、意識させる。		
本時のめあて：スパイクの課題を見つけ出し、解決に向けた練習に取り組もう。			
スパイクのグループ別練習を行う。〔25分〕			
5 自己のスパイクの課題をワークシートに記入する。	◇スパイクのポイントから選択させる。 ①両足踏み込みを行う。 ②バックスウィングを大きくする。 ③タイミングを合わせる。		
《予想される生徒の反応》 ・片足で踏み切るクセがついている。 ・バックスウィングをするとタイミングが合わない。など			

<p>6 グループに分かれて、課題解決に向けて練習に取り組む。</p> <p>・ネットを使う際は、場所を割り振って練習する。</p>	<p>◇足型のシートを活用したり、タブレットで動きを確認したり、お手本の動きを映像で確認したりできるような場の設定を行う。</p> <p>◆課題を理解できていない生徒がいる場合、リーダーに練習方法をアドバイスする。</p>	<p>イ②提供された練習方法から自己やチームの課題に応じた練習方法を選んでいる。</p>	<p>行動観察 ワークシート</p>
<p>グループ学習のルール</p> <p>①技能が高い生徒6～8名を、事前にこちらでリーダーとして決める。</p> <p>②リーダーの指示によって練習に取り組む。</p> <p>③技能が高まった生徒は、先生にチェックを受けに行く。</p>			
<p>★課題についての動作を言語化し、相手に説明しようとしている。</p>			
<p>本時の活動の振り返り。〔10分〕</p>			
<p>コートを片付ける</p> <p>7 振り返り</p> <p>・ワークシートにまとめ、発表する。</p>	<p>◇本時のねらいに基づき、授業を振り返らせ、まとめさせる。</p> <p>◇全体・グループへ、個別に良かった点をいくつか取り上げて評価する。</p>		
<p>《予想される生徒の反応》</p> <p>・〇〇君が「片足踏み切りで前に跳び過ぎている」と言っていたので、自分の課題に気付けた。</p> <p>・まずはステップとバックスウィングを反復練習し、ボールヘタイミングを合わせられるようにする。など</p>			
<p>8 挨拶</p>			

板書計画

<p>本時のめあて：スパイクの課題を見つけ出し、解決に向けた練習に取り組もう。</p>																		
<p>スパイクのポイント</p> <p>①両足踏み込みを行う</p> <p>②バックスウィングを大きくする</p> <p>③タイミングを合わせる。</p>	<p>練習方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・足型でステップ練習 ・タブレットで動作確認 ・お手本の動きの確認 ・壁打ち ・ネットを使って打ち込み 	<table border="0" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left; border: 1px solid black; padding: 2px;">内容</th> <th style="text-align: left; border: 1px solid black; padding: 2px;">時間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①サーキット</td> <td>4分</td> </tr> <tr> <td>②基本練習 パス</td> <td>6分</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">スパイク</td> <td>4分</td> </tr> <tr> <td>③本時のめあての確認</td> <td>4分</td> </tr> <tr> <td>④スパイクのST練習</td> <td>22分</td> </tr> <tr> <td>⑤片付け</td> <td>3分</td> </tr> <tr> <td>⑥振り返り</td> <td>7分</td> </tr> </tbody> </table>	内容	時間	①サーキット	4分	②基本練習 パス	6分	スパイク	4分	③本時のめあての確認	4分	④スパイクのST練習	22分	⑤片付け	3分	⑥振り返り	7分
内容	時間																	
①サーキット	4分																	
②基本練習 パス	6分																	
スパイク	4分																	
③本時のめあての確認	4分																	
④スパイクのST練習	22分																	
⑤片付け	3分																	
⑥振り返り	7分																	